

全天候型常温混合物

タフストック

使用の手引き



ヒューマン&グローバルコミュニケーション
SHOREKI
昭和瀝青工業株式会社

1 タフストックの特徴

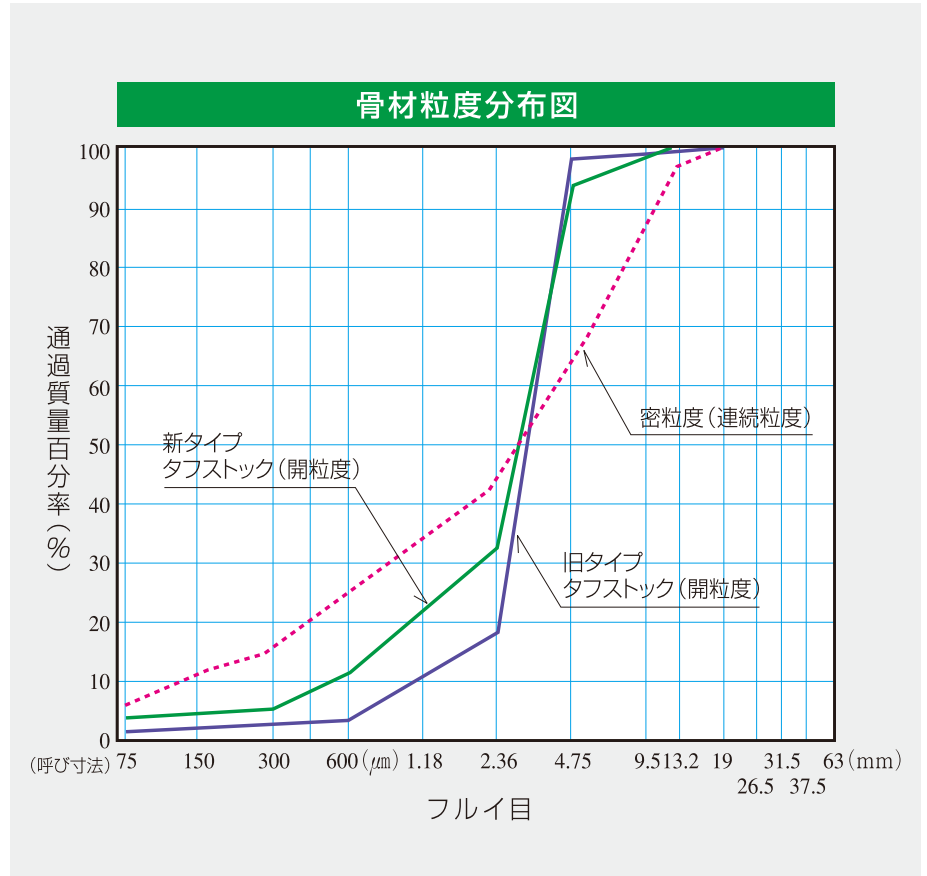
タフストック は、米国HY-GRADE社の歴史と昭和瀝青工業(株)の経験の結晶として生まれた“水があってもくっつく”常温混合物です。

混合物は骨材を5mmトップの開粒度タイプとし、バインダーには石油アスファルトをベースに、特別なカットバック剤および添加剤を使用して、振動性に優れ、水に強い設計となっております。

タフストック を使用するにあたり、プライムコートやタックコートは必要としません。

タフストック を敷均した後に、コンパクタ、タンパやランマなどで転圧することで初期の飛散を防ぎますが、交通解放による車輪の圧縮でさらに強固な舗装体となります。

また粒度が開粒度タイプであるため、過転圧されても流動やフラッシュしにくく、重交通にも十分耐えるパッチング材です。



2 タフストックの用途



- 高速道路、一般道、農道および林道などのポットホール、わだち部クラックの補修
- 水道、ガス管、電話線などの埋没後の復旧
- マンホール回りの補修
- 段差修正

3 タフストックの使用方法



施工前状況



1 補修箇所の泥やほこりを取り除いてください。また、積雪や氷があるときは溶かしてください。水たまりはそのままでもOKです。



2 **タフストック** を投入します。余盛は10%（軽交通）～20%（重交通）で、中央が少し高くなるように敷均してください。



3 敷均し後、

① コンパクト、タンパあるいはランマ（面積が広いときは、ローラ）

または

② スコップの背か、車のタイヤで転圧してください。

4 タイヤへの付着防止のために、石粉か砂の散布が効果的です。



5 ポットホールの深さが5cm以上のときには、

① 何層かに分ける（3～5cm/層）

または

② 3cmくらい残して碎石を敷詰した後

タフストック を投入するなどして、

転圧してください。

※ 使用量の目安は、
1袋（30kg）→
厚さ2cmのときは0.75㎡です。

※ 袋の中で固まっているようでしたら、袋をたてるなどして、一度ほぐしてみてください。

※ 袋にあまったときは、袋をしっかり密閉しておくで使用できますが、一ヶ月以内には使いきってください。

4 タフストックの選択

タフストック は、気温によって粘性が変わります。作業性と飛散抵抗性とのバランスを保つために、季節・気温によって粘性を調整しております。したがって、製造時期と使用時期との温度差が大きい場合には、固すぎたり、柔らかすぎたりしますので、その季節・温度に適合するものを選択、使用されるようお願いいたします。

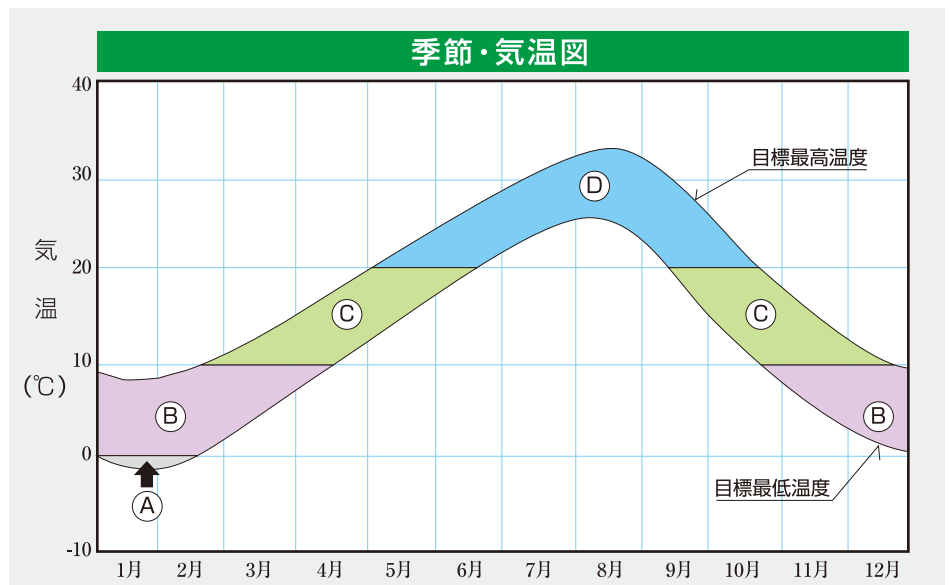
タフストック のグレードは、次のとおりで、袋には適用目安温度を表示しております。（使用時期による推奨グレードが平成22年10月より下記に変更になっています。）

適用時期 季節	A	B	C	D
適用目安 温度	0℃以下	0～10℃	10～20℃	20℃以上

※ 1～2ヶ月で使える量で購入してください。

※ 適用時期・季節以外で使用されると性能が発揮できない恐れがありますので、その季節・温度に適合するものを選択、使用されるようお願いいたします。

※ 未開封であれば、適用時期・季節になりますと使用可能です。



タフストック 取扱い上の注意



- ① 積み重ねの下段の方は固くなる場合があります。ほぐせば十分使用できます。
- ② 本品は、天然骨材、アスファルトおよび石油系溶剤からなる混合物であり、毒性はありませんが、幼児の手の届かないところへ保管してください。
- ③ 作業時は、直接素手で扱わず、ゴム手袋か軍手などを着用してください。
- ④ 汚れたままの手で喫煙や食事はしないでください。
- ⑤ 皮膚と接触したときは、接触部分を石鹼で洗ってください。
アスファルトが付着して落ちにくい場合には、軽油か灯油をしみこませた布切れでふき取ってから石鹼でよく洗ってください。
- ⑥ 使用済みの空き袋や残材料は、下水・河川・池・沼・湖などへ絶対に捨てないでください。
処分に当たっては、自治体の条例や指示にしたがって処置してください。

昭和瀝青工業株式会社

〒670-0935 兵庫県姫路市北条口4丁目26番地 TEL.079-226-2613 FAX.079-226-2623